

平成30年1月31日(水)  
都市経営戦略会議  
都市局

# 大宮駅グランドセントラル ステーション化構想[案]について

---

都市局 都心整備部  
東日本交流拠点整備課

「大宮グランドセントラルステーション推進会議」において、今年度末にとりまとめる予定の『大宮駅グランドセントラルステーション化構想』（案）についてご審議いただく。

# 大宮駅グランドセントラルステーション化構想の背景・目的

## ○まちづくり等の動き

- ・再開発事業や大宮区役所新庁舎、氷川緑道西通線等のまちづくりが進捗。
- ・北陸、北海道新幹線開業等から大宮の交通結節点としてのプレゼンス(存在感)が向上。

## ○国の計画等に「大宮」が位置付け

- ・首都圏広域地方計画
- ・東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(交通政策審議会答申)

### 《目的》

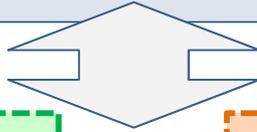
大宮駅グランドセントラルステーション化構想は、「首都圏広域地方計画」で重要視している眼前の「運命の10年」を逃すことなく、東日本の玄関口である大宮、ひいてはさいたま市のプレゼンスを飛躍的に向上させ、日本の誇るべき都市として地位を確立させていくことを目的に作成。



# 大宮グランドセントラルステーション推進会議

## 大宮グランドセントラルステーション推進会議(GCS推進会議)

- 目的: ①市が公表・策定するGCS構想に関して意見を聴き、方向性を共有する場
- ②駅、交通基盤整備、駅周辺街区のまちづくりに関して情報共有する場



### 基盤整備推進部会

### まちづくり推進部会

#### ■ 委員

- ・学識経験者
- ・鉄道・バス・タクシー事業者
- ・警察・埼玉県
- ・駅前広場に隣接する地元まちづくり団体
- ・さいたま市

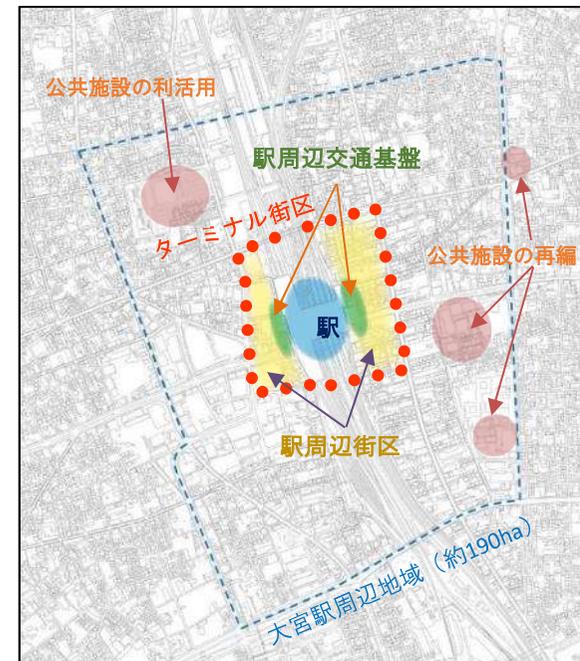
#### ■ デザインコーディネーター

- ・アーバンデザインセンター大宮(UDCO)

#### ■ オブザーバー

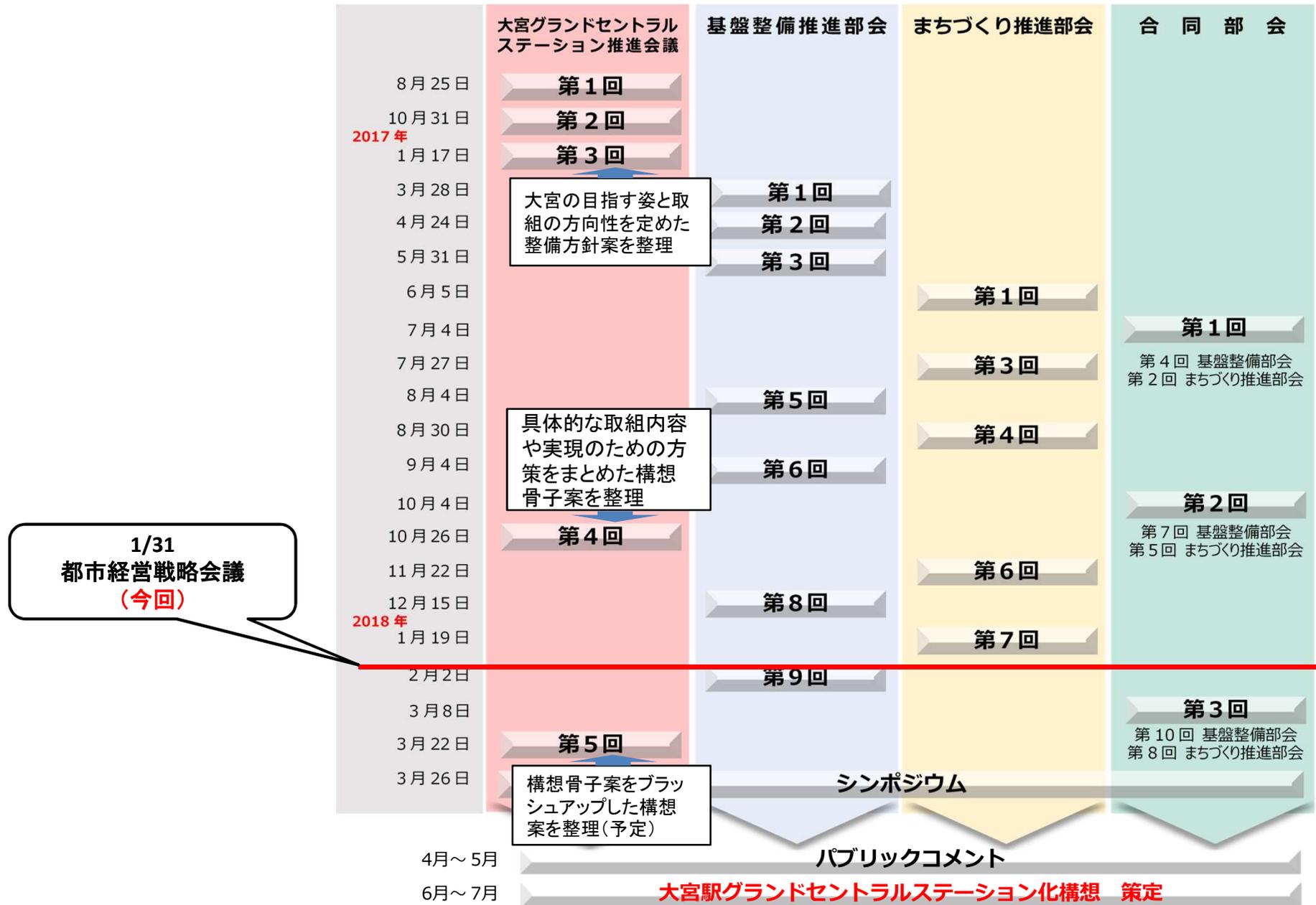
- ・国土交通省、UR都市機構

#### ■ 対象範囲



※公共施設再編や周辺のまちづくり等と連携して検討を進める

# 推進会議における検討状況



# 市民への周知と意見聴取

## ■今年度取り組んでいる内容

### ◆GCS Newsの発行【計3回】

- ・地元地権者や商店街へ配布

### ◆出前講座【11回】

- ・まちづくり団体等を対象に実施

### ◆オープンハウス【8回】

- ・鉄道ふれあいフェア、消費生活展、区民祭り 等

### ◆オープン会議【2回】

- ・ワークショップ形式で市民意見の聴取

### ◆市ホームページ等による周知

- ・GCS Newsや会議資料、PI活動の報告等



オープン会議



オープンハウス（鉄道ふれあいフェア）



オープンハウス（消費生活展）



創刊号  
発行 平成29年8月 さいたま市

設置の概、まずまずご賛同のこととお喜び申し上げます。  
本市では、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤整備、駅前広場に隣接する街区のまちづくり、機軸改善等を含めた駅機能の更なる高度化を推進する「大宮駅グランドセントラルステーション化構想（GCS構想）」の策定に取り組んでいます。  
（GCS NEWS）は、GCS構想の検討や進捗状況を掲載し、関係者やまちづくりに対する情報共有を目指し、発行するものです。  
今回、創刊号では、昨年度整理した「整備方針（案）」や7月に開催した「第1回合同協議会」について、ご紹介いたします。

### 1 大宮駅グランドセントラルステーション化構想 っどうやって進めているの？

○大宮駅周辺地域では、平成22年度に東日本の玄関口を目指して、地元の商業やまちづくりに関係する様々な団体の協力の協力を得ながら「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」を策定し、実質効果のまちづくりを進めているところです。



○GCS構想の策定に向けては、都市計画を専門とする学識経験者、公共交通を担う鉄道やバス、タクシーの事業者、交通管理者である警察や警備の行政機関、さらに、事業を促進に助けるためにご協力が必要となる、地元地権者等が加入するまちづくり団体の代表の資格で構成する「大宮グランドセントラルステーション推進協議会（GCS推進協議会）」を設置し、協議しています。

○現在、GCS推進協議会の下に、「基盤整備推進委員会」と「まちづくり推進委員会」を設置して、「都市機能」や「歩行者ネットワーク」、「駅前空間」等について検討を進めているところです。今後は、GCS推進協議会と並行して、出前講座やオープン会議等を開催し、広く市民の皆様からもご意見を伺っていきます。



第2号 (WEB版)  
発行 平成29年9月 さいたま市

執筆の概、まずまずご賛同のこととお喜び申し上げます。  
いよいよ、10月26日（木）に「第4回大宮グランドセントラルステーション推進協議会（GCS推進協議会）」を開催します。GCS推進協議会では、これまでの「まちづくり推進委員会」や「基盤整備推進委員会」の両委員会での検討状況や報告し、大宮グランドセントラルステーション化構想（GCS構想）の身子（案）について委員の皆様にご議論頂く予定です。  
本号では、現在作成中の「GCS 構想身子（案）」の身子をイラストでご紹介します。  
※「GCS 構想身子（案）」は、第4回GCS推進協議会の翌日に市のホームページにアップする予定です。無料、ダウンロードしてご覧ください。

### 1 第4回 大宮グランドセントラルステーション推進協議会開催のご案内

- 第4回GCS 推進協議会次のとおり開催します。
- GCS 推進協議会は昨年3回目開催され、今年度としては、1回目の開催となります。
- 本会議は市民の皆様にも傍聴いただける公開の会議となっております。皆様、是非お越しください。

【開催日時】平成29年10月26日（木）  
10時00分～12時00分（予定）  
【開催場所】さいたま市大宮区榑木1丁目7番地5  
大宮ソニック市榑木ホール 第3集会所（403）



・傍聴は事前申込制となっております（定員50名）。  
・傍聴をご希望される方は、10月10日（水）までに、はがき、FAX又はEメールで、会議名、お名前、住所、氏名、電話番号を記載し、東日本交通支線開発課にお申し込みください。

【おて光】  
住所：〒330-6588 さいたま市榑木区榑木6-4-4  
FAX：048-829-1937  
Eメール：higashihon-koten-sel@city.saitama.lg.jp



第3号  
発行 平成29年11月 さいたま市

執筆の概、まずまずご賛同のこととお喜び申し上げます。  
去る10月26日（木）に「第4回大宮グランドセントラルステーション推進協議会（第4回GCS推進協議会）」を開催しました。  
本号では、第4回GCS推進協議会で議論をした「大宮グランドセントラルステーション化構想身子（案）（GCS構想身子（案）」や委員の皆様から頂いた主なご意見について、ご紹介いたします。  
また、11月から今年度GCS推進協議会の副会も後半に入り、大宮グランドセントラルステーション化構想（GCS構想）のとりまとめに向け、より一層深い検討を進めてまいりますので、今後とも皆様のご協力をお願いします。

### 1 第4回 大宮グランドセントラルステーション推進協議会のご報告について

平成29年10月26日（木）10時より、第4回GCS推進協議会を開催し、学識経験者・地元まちづくり団体・鉄道事業者・総務省行政機構等の委員やオブザーバーの皆様に加え、約50名の市民の方にも傍聴頂きました。今回は、今年度前半に開催しました「まちづくり推進委員会」及び「基盤整備推進委員会」での検討状況を報告した上で、GCS構想身子（案）についてご議論頂きました。

- 当日の議題**
1. 第3回推進協議会以降の検討状況の報告
  2. 大宮グランドセントラルステーション化構想身子について



▲第4回GCS推進協議会の様子

# 構想の構成

1. 構想の位置づけ
2. 対象範囲
3. 大宮の果たすべき役割
4. 大宮の強みと弱み
5. 整備方針
6. 取組内容
  - 6-1. 都市機能
  - 6-2. 歩行者ネットワーク
  - 6-3. 駅前空間
  - 6-4. 道路ネットワーク
  - 6-5. 駅機能
  - 6-6. 取組内容の全体イメージ図
7. 実現のための方策
8. 検討経緯・今後のスケジュール

## 大宮の果たすべき役割 — 一国や社会経済の動きからみた、大宮の役割 —

「東日本の玄関口」として東日本全体の発展を牽引

東京一極集中に伴う日本経済の災害リスク軽減とともに**災害時のバックアップ機能**を果たすという役割

これからの働き方やライフスタイル**先導・提案**し、市域全域に波及させるという役割

① <b>ビジネス</b>	地の利を活かし、東日本の拠点としての <b>ビジネス機能を集積</b> させます
② <b>東日本連携</b>	新たな価値を創造する <b>対流拠点機能を強化</b> し、東日本の主要都市間と共存・共栄を目指します
③ <b>商業</b>	地元商店や路地空間の魅力、拠点的な商業集積等を活かし、 <b>商都大宮を再生</b> します
④ <b>地域コミュニティ</b>	都心の便利さと緑の近さがコンパクトにミックスされた <b>上質な住環境を地域で育成</b> します
⑤ <b>公共交通他モード連携</b>	東日本からの集結・交流機能を高める、更なる <b>交通結節機能の充実</b> を図ります
⑥ <b>歩行者ネットワークたまり空間</b>	駅からまちへ人を惹きつけるとともに、まちからまちへの <b>回遊機能を強化</b> します
⑦ <b>道路ネットワーク</b>	おもてなし歩行エリアを実現するため、駅周辺に流入する <b>自動車交通を抑制</b> します
⑧ <b>景観・環境</b>	大いなる宮居としての <b>風格ある駅前景観を形成</b> します
⑨ <b>防災</b>	首都直下地震や都市型災害に対する <b>強靭性を備えたまちづくり</b> の推進を図ります

### 取組内容

具体的にどこで何をするのか

(1) 都市機能

(2) 歩行者ネットワーク

(3) 駅前空間

(4) 道路ネットワーク

(5) 駅機能

### (1)「都市機能」に関する取組内容

#### 1 取り組みの考え方

- ・ 広域的な業務・商業機能や交流機能の集積を図る
- ・ 都市再生緊急整備地域の指定によるメリット等を活用する
- ・ 新たな働き方や住まい方を体現できる都市環境等、大宮ならではの要素を都市のブランド力として強化・発信する
- ・ 最先端技術を積極的に取り入れ環境負荷を低減する
- ・ 開発街区と連携し、防災機能をまち全体で強化する

#### 2 取組内容

- ①東日本の交流拠点に相応しい都市機能の導入
- ②都市機能誘導方策の活用
- ③大宮の個性、風格と品格を醸し出す景観の形成
- ④環境負荷の低減に向けた先進的な取り組み
- ⑤大規模災害を想定した防災まちづくり

#### 【③に関する事例：森という名の緑地（大手町タワー）】

○フリーランスや企業人のクリエイターが集まり、交流・連携、コラボレーションにより高度なアイデア等を創出  
起業・法務支援などのサポート機能も行う



#### 【①に関する事例：241ブランドの商業（GINZA SIX）】

○約47,000㎡の銀座エリア最大の商業施設に241店舗が出店（内122店舗が旗艦店）  
銀座初出店は81店、65の新業態店舗が集結するなど注目が集まっている。



#### 【①に関する事例：シェアオフィス（渋谷キャスト）】

○フリーランスや企業人のクリエイターが集まり、交流・連携、コラボレーションにより高度なアイデア等を創出  
起業・法務支援などのサポート機能も行う



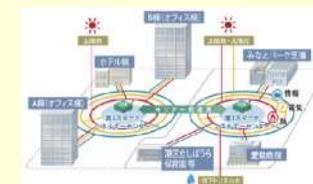
#### 【②に関する事例：都市再生特別地区（大阪駅北地区）】

○都市再生に貢献し土地の高度利用を図るため、都市再生緊急整備地域内において、既存の用途地域等に基づく規制にとらわれず自由度の高い計画を定めることにより、容積率制限の緩和等が可能



#### 【④、⑤に関する事例：エネルギースマートパーク（田町駅東口地区）】

○建設時期に応じ、公共街区と民間街区にスマートエネルギーセンターを構築して連携することにより、エリア全体の低炭素化と相互補完機能の強化による防災性の向上を図っている



#### 3 構想策定後の個別整備計画において検討すべき事項

- 開発街区における検討・計画の深度化（不動産マーケットの見極め、長期の事業性確保、規模想定 等）
- 各開発街区の権利者意識の醸成
- 東口のまちづくり全体の調和に向けたルールづくり

### (2)「歩行者ネットワーク」に関する取組内容

#### 1 取り組みの考え方

- ・対流拠点としての役割を担うターミナル街区とその周辺のまち全体を見据えた歩行者ネットワークを構築する
- ・周辺の地域資源に多くの人立ち寄り、人の賑わいをまち全体に広げていくため、中央通路に集中している人の流れを「対流」させる
- ・さいたま新都心や地域資源等へのアクセスを見据えた2つの軸を形成する
- ・大宮の特長である路地空間を活かす

#### 2 取組内容

- ①駅東西を結ぶ新たな東西軸の整備
- ②個性ある路面店や飲食店が連なる「賑わい交流軸」の形成
- ③大宮を象徴し快適に歩ける「シンボル都市軸」の形成
- ④路地空間の界限性を意識した開発の促進



**【①に関する事例：仙台駅自由通路】**  
 ○自由通路整備に合わせ、改札の新設や既存駅部分のリニューアル、観光情報センターの整備を行った



**【②に関する事例：渋谷キャットストリート】**  
 ○緑が多く歩きやすく整備された沿道には個性的な店が並ぶ



**【③に関する事例：行幸通り】**  
 ○品格のある道路空間を創出し、都市環境改善に資する街路を新たに再整備した



**【④に関する事例：近江町市場】**  
 ○再開発ビルの中に元々の市場の雰囲気を残して整備を行った

#### 3 構想策定後の個別整備計画において検討すべき事項

- 東西通路の位置づけ、幅員、事業手法、既存デッキへの接続計画の具体化 等
- 街並みの連続性を確保するための民地内空地の確保方策。地域で守るべきルールづくり 等
- 歩行者空間・デッキ等の整備手法（整備主体、費用負担等）

### (3)「駅前空間」に関する取組内容

#### 1 取り組みの考え方

- ・ 駅とまちを結びつける空間として、多様な交流を促し、大規模災害時の受け皿として機能する交流空間を確保する
- ・ 利便性、快適性、安全性に優れた交通基盤を整える
- ・ 限りある駅前空間を有効に活用したコンパクトな機能配置とする
- ・ 大宮の顔として風格、品格、先進性等を感じる個性ある景観を形成する
- ・ ターミナル街区における歩行者の安全性と自転車利用の利便性の両立を図るため、自転車駐輪場の適正な配置に向けた取り組みを行う

#### 2 取組内容

- ①多様な交流を促す交流広場の新設整備
- ②広域交通結節点に相応しい交通基盤の再整備
- ③駅前空間の一体性を高めた顔づくり
- ④自転車利用環境の充実



【①に関する事例：博多駅】

○結節の強化や回遊性向上につながる歩行者動線及び博多駅地区全体で不足している広場空間を整備



【②③に関する事例：姫路駅】

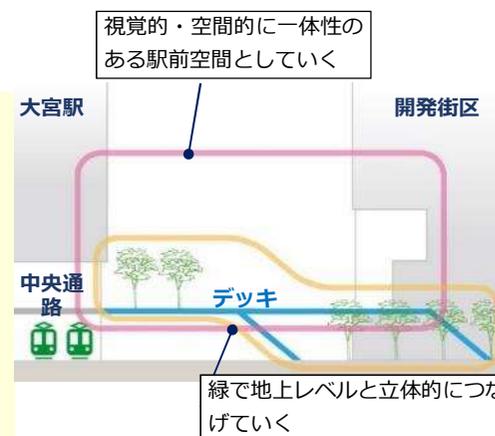
○姫路城の門をイメージした視点場やオープンカフェやイベントに活用できる広場等を整備

【取り組みの考え方】

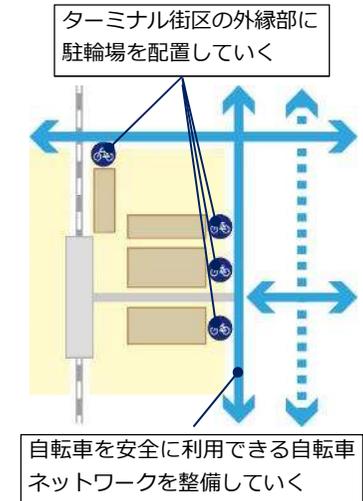


多様なヒト・モノ・情報を惹きつけ、大宮のまちに降りたくなる仕掛け、市民と来街者が集い、交流できる拠点の創出  
公共交通のみが利用できる交通広場や、一般車転回場の外縁部への配置により、公共交通と歩行者優先の駅前空間を形成

【駅前空間のイメージ】



【自転車駐輪場の配置イメージ】



#### 3 構想策定後の個別整備計画において検討すべき事項

- 広場の位置づけ、事業手法、開発街区との連携、施設規模、必要面積の精査
- 東口のまちづくり全体の調和に向けたルールづくり
- ターミナル街区での自転車動線のあり方、駐輪場の配置・規模の検討 等

交流空間 イメージパース(中山道まつり開催時のイメージ)



## (4)「道路ネットワーク」に関する取組内容

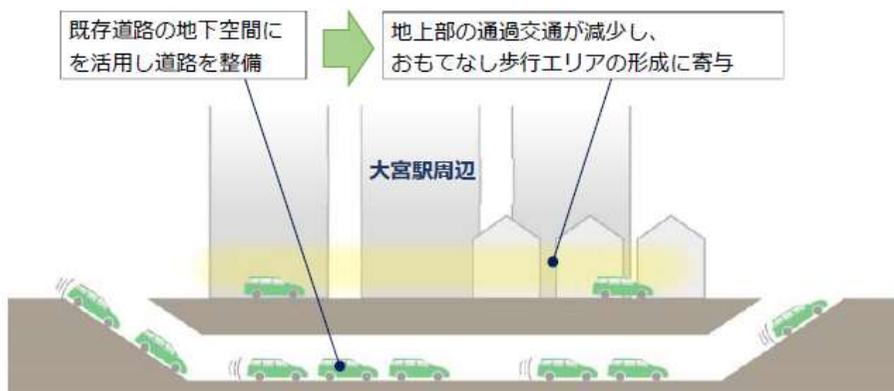
### 1 取り組みの考え方

- ・市街地開発事業等による自動車交通量の増大が想定される
- ・駅周辺の自動車の交通混雑の緩和とともに、歩行者中心の移動環境を整える
- ・ unnecessary 自動車流入による交通渋滞を抑制する
- ・低炭素社会の実現や災害時の通行円滑化につなげる

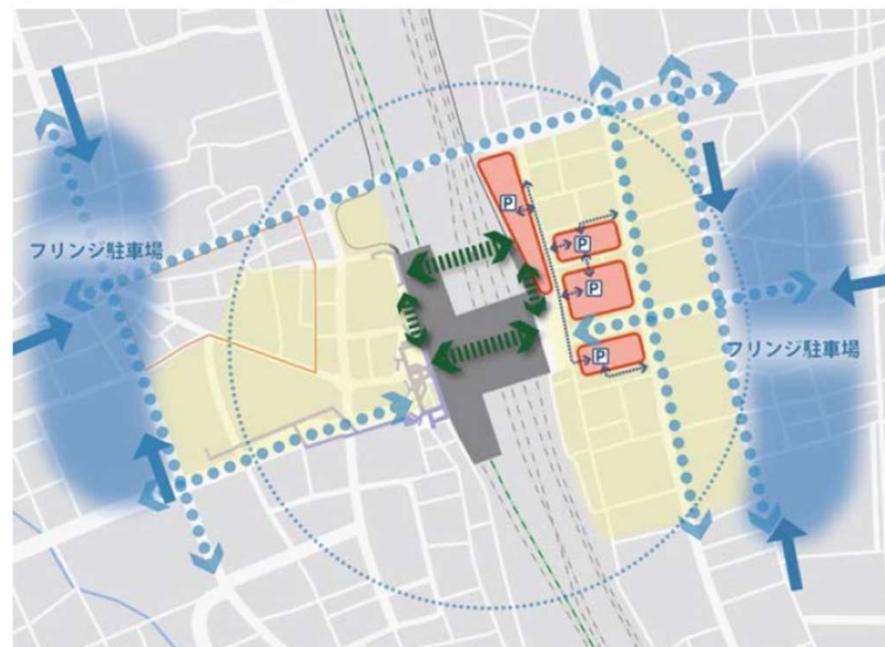
### 2 取組内容

- ①道路ネットワークの強化・拡充
- ②交通需要マネジメントの展開

#### [地下空間を活用した道路のイメージ]



#### [取り組みの考え方]



### 3 構想策定後の個別整備計画において検討すべき事項

- 将来交通量の推計と整備する路線の抽出、事業採算性の検証、開発計画やまちづくり等との整合
- 交通需要マネジメントの必要量の推定、フリンジ駐車場整備の具体化方策
- 自動車交通の集中・錯綜に対応した「地域ルール」の策定・運用 等

### (5)「駅機能」に関する取組内容

#### 1 取り組みの考え方

- ・ 広域交通結節点として、より安全で便利な鉄道利用や乗り換えを実現する
- ・ 環境に優しい駅施設とする
- ・ まちへの回遊を促進し、災害時にも対応できるよう東西通路の整備に合わせた乗り換え利便性の向上を図る

#### 2 取組内容

##### ① 東西通路の整備と合わせた駅機能の高度化



##### 【駅機能の高度化に関する事例： ホームドアの設置】

- 列車との接触事故や線路への転落防止により安全性の向上を図る



駅機能高度化のイメージ(例)

#### 3 構想策定後の個別整備計画において検討すべき事項

- 東日本の玄関口に相応しい駅のあり方
- 利便性を考慮した駅の乗り換え改善
- 鉄道上空利用のあり方
- 導入すべき公共的な機能 等

## 【構想(案)P24】

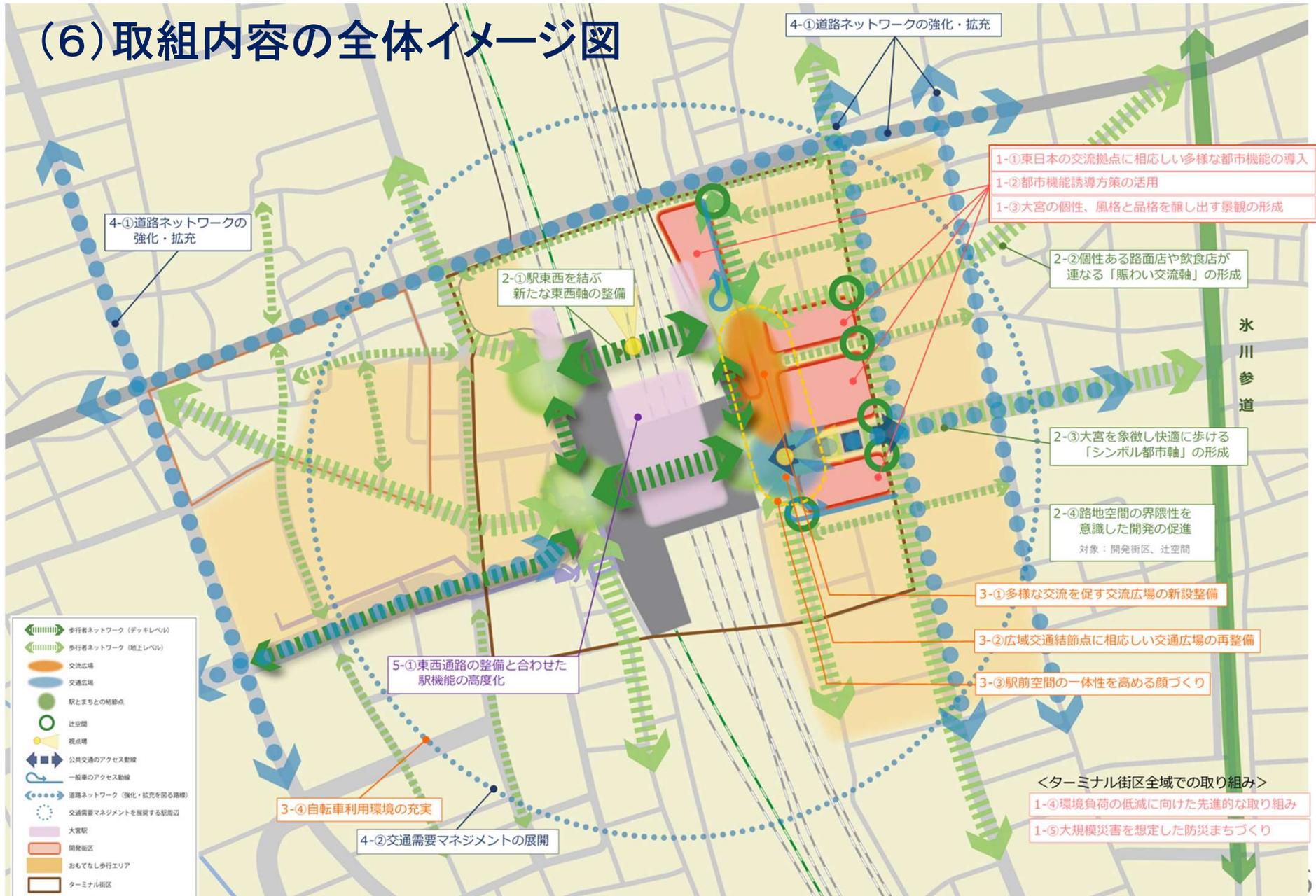
※あくまでイメージとなります

鳥瞰図 イメージパース(上空から俯瞰した視点)



(地図データ：google)

### (6) 取組内容の全体イメージ図



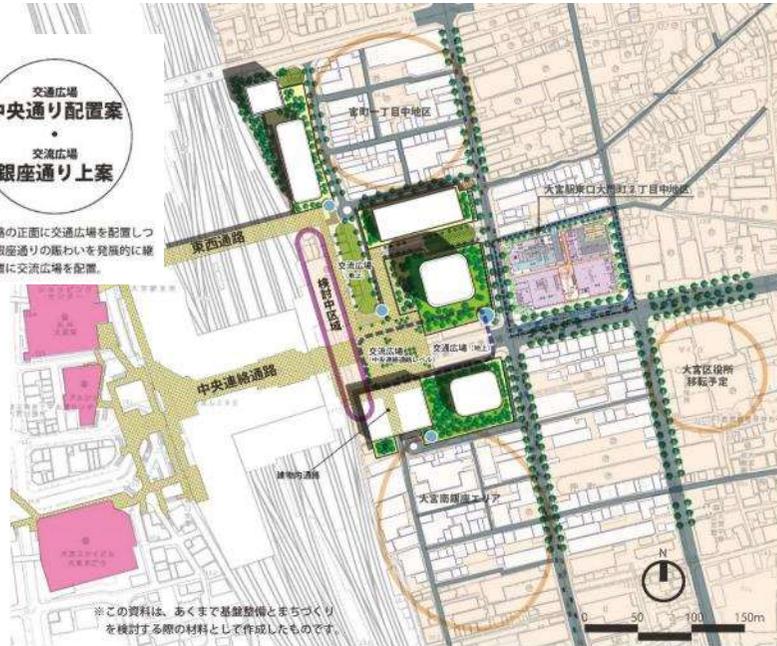
# スタディパターン

【構想(案)P27~28】

①

交通広場  
中央通り配置案  
・  
交流広場  
銀座通り上案

中央連絡通路の正面に交通広場を配置しつつ、現在の銀座通りの賑わいを発展的に継承できる位置に交流広場を配置。

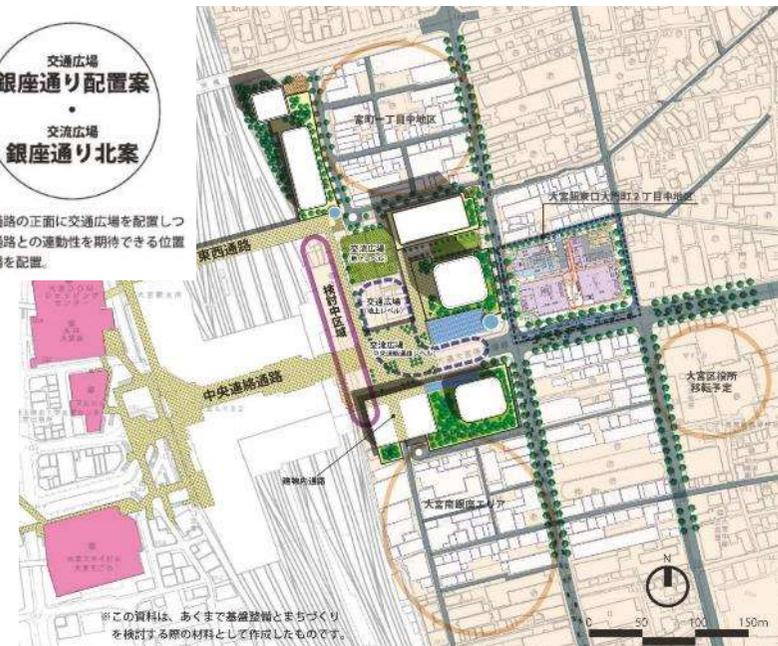


※この資料は、あくまで基礎整備とまちづくりを検討する際の材料として作成したものです。

②

交通広場  
銀座通り配置案  
・  
交流広場  
銀座通り北案

中央連絡通路の正面に交通広場を配置しつつ、東西通路との運動性を期待できる位置に交流広場を配置。

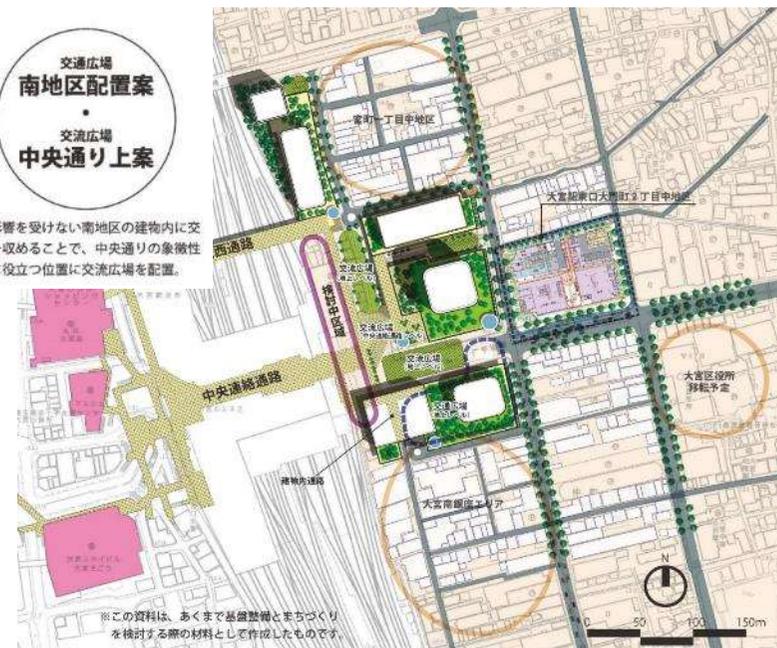


※この資料は、あくまで基礎整備とまちづくりを検討する際の材料として作成したものです。

③

交通広場  
南地区配置案  
・  
交流広場  
中央通り上案

天候に影響を受けにくい南地区の建物内に交通広場を収めることで、中央通りの象徴性の強化に役立つ位置に交流広場を配置。

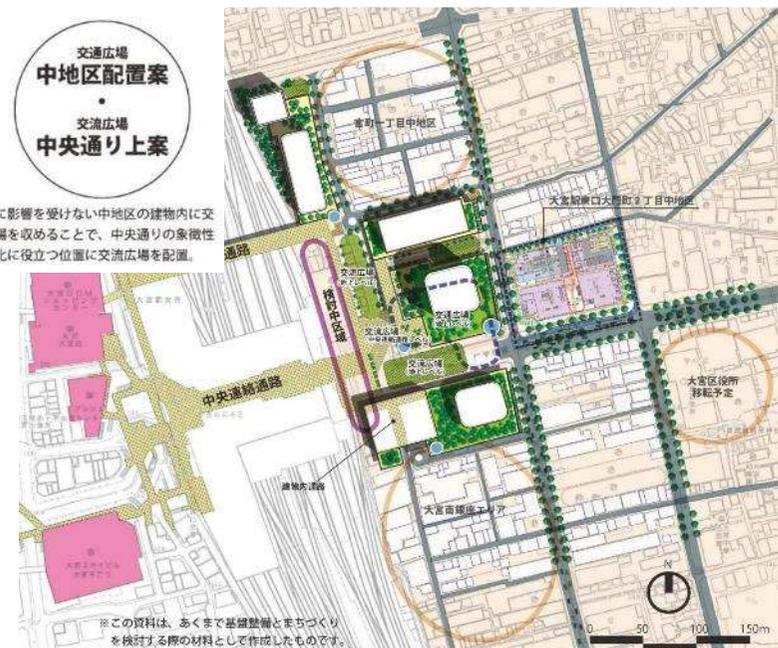


※この資料は、あくまで基礎整備とまちづくりを検討する際の材料として作成したものです。

④

交通広場  
中地区配置案  
・  
交流広場  
中央通り上案

天候に影響を受けにくい中地区の建物内に交通広場を収めることで、中央通りの象徴性の強化に役立つ位置に交流広場を配置。



※この資料は、あくまで基礎整備とまちづくりを検討する際の材料として作成したものです。

- 都市機能や交通機能を複合的に導入するため、駅周辺まちづくり、交通基盤整備、駅機能の高度化等の多岐に渡る取組を、官民が連携して、連鎖的に行っていきます

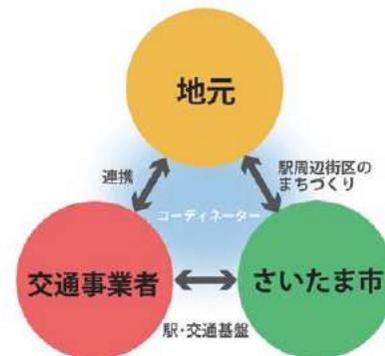
- 早期かつ着実に事業展開を図っていくため、整備効果や事業展開、関係する開発街区の合意形成等の視点から、整備パターンを決定していきます

- 複数の開発街区が調和した価値の高いまちとしていくため、「まちづくりガイドライン」を策定し、運用していきます

- 土地の重層利用により公共的な空間を確保するため、立体都市計画制度等の活用を図るとともに、必要な公共施設用地を確保しつつ、土地の有効利用と高度利用を図るため、市街地開発事業を適用していきます

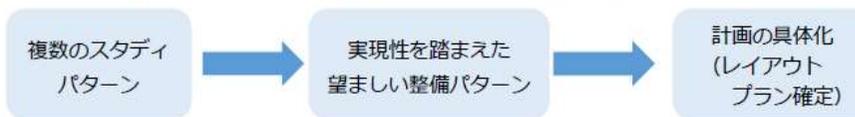
- 開発整備後もまちの価値を継続的に高めていくため、エリアマネジメントの仕組みを構築していきます

三位一体による取組のイメージ



整備パターンの検討の進め方のイメージ

「平成 32 年度に都市計画決定に向けた手続きに着手」することを目標に、関係地権者等と合意形成を行い、スピード感をもって事業展開を図っていきます。



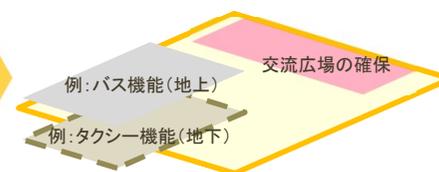
公共的な空間確保のイメージ

【× 平面のみで機能確保する場合】



街区への影響が大きく、十分な交流広場を確保することが難しい

【○ 重層利用を想定した場合】

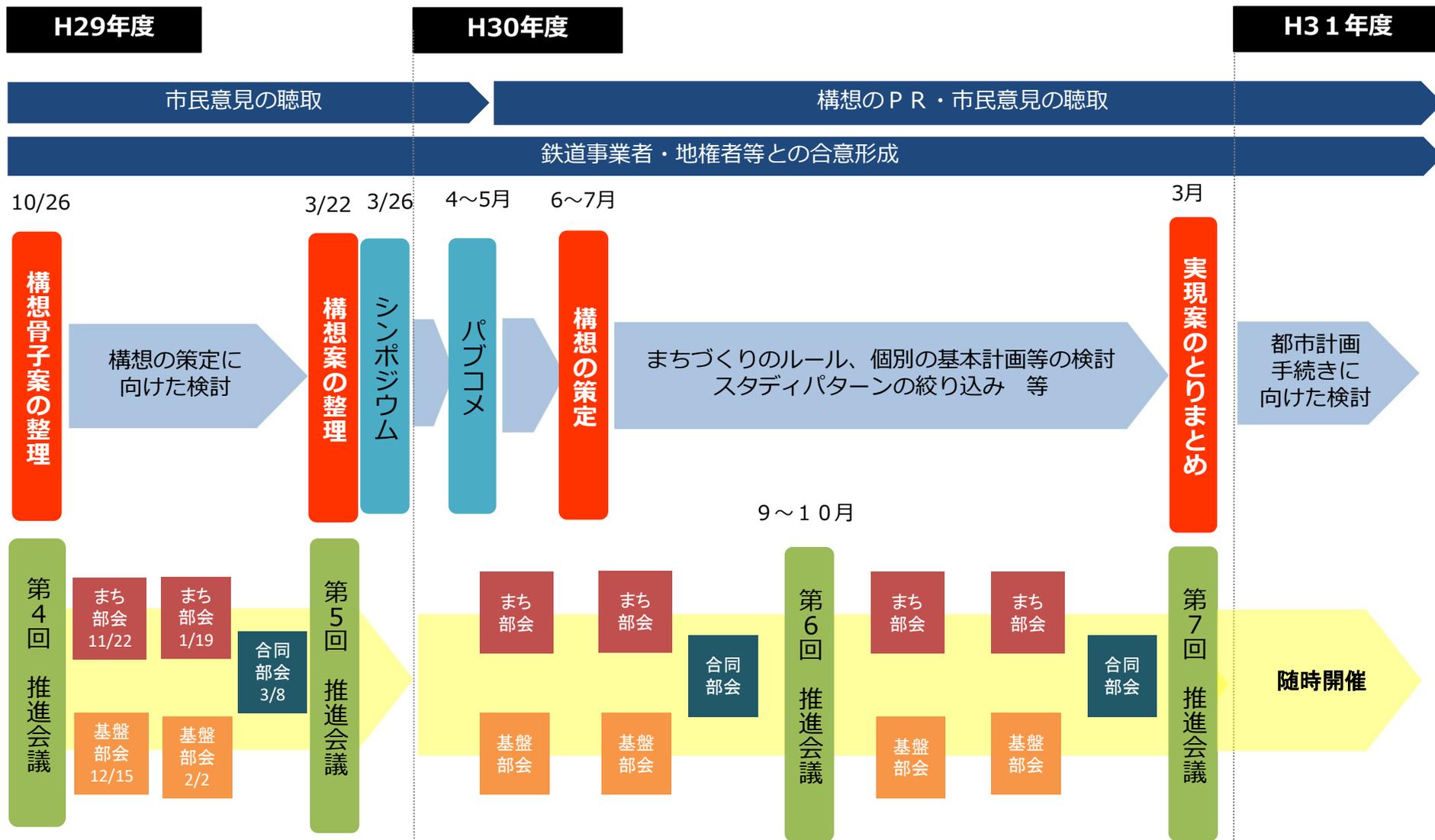


街区への影響は少なく、十分な交流広場の確保も見込める

# 今後のスケジュール

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 構想の策定に向けた取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮GCS推進会議等開催</li> <li>・出前講座の実施</li> <li>・シンポジウムの開催</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業化に向けた検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・東西通路</li> <li>・駅前広場</li> <li>・周辺のまちづくり</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市計画決定に向けた手続等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場などの都市施設</li> </ul> </li> </ul>	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮駅GCS化構想案の作成</li> <li>・周知のためのシンポジウムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの実施</li> <li>・大宮駅GCS化構想の策定</li> <li>・東西通路と駅前広場に係る概略設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西通路と駅前広場に係る基本設計</li> <li>・事業加速化のためのシンポジウムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西通路と駅前広場に係る詳細設計</li> <li>・都市計画決定に向けた図書の作成と公聴会等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場などの都市施設等の都市計画縦覧・決定</li> </ul>

# 平成30年度のスケジュール(予定)



# 大宮駅GCS化構想と公共施設再編のスケジュール(予定)

